

## 中播都市計画道路及び下水道の 変更にかかる素案縦覧のお知らせ

福崎町では、都市計画道路（福崎駅田原線：福崎駅前広場）及び都市計画下水道の変更を予定しています。

このたび、変更に係る素案を作成しましたので、都市計画法に基づく法定縦覧を行います。

**期間** 11月22日（火）～12月6日（火）

8:30～17:15 ※閉庁日を除く

**場所** まちづくり課

**対象となる都市計画**

■中播都市計画道路（福崎駅田原線：福崎駅前広場）

■中播都市計画下水道

（コミプラ汚水編入、工業団地雨水整備）

○意見書の提出について

計画変更素案に対し、意見書を提出することができます。上記縦覧期間中に、住所、氏名、年齢及びこの素案についての意見をできるだけ具体的に記載した書面を、福崎町長あてに提出してください。郵送も可能です。

**問い合わせ・意見書提出先**

まちづくり課 都市計画係（内線336）

## 中播都市計画地区計画の変更(福崎町決定)に係る素案縦覧のおしらせ

中播都市計画地区計画の変更（福崎町決定）について、都市計画法の規定に基づき次のとおり素案の縦覧を行います。

**期間** 11月22日（火）～12月6日（火）

8:30～17:15 ※閉庁日を除く

**場所** まちづくり課

**地区計画の名称** 東部工業団地地区計画

**地区計画の区域**

福崎町大貫字カスベ口、カスベ、飛原、和田、飛原口、高野及び尾山の各一部

○意見の提出について

本案に意見のある方（福崎町の住民及び利害関係人）は上記の縦覧期間中に意見書を提出することができます。住所、氏名、年齢及びこの案についての意見をできるだけ具体的に記載した書面を、福崎町長あてに提出してください。郵送も可能です。

**問い合わせ・意見書提出先**

まちづくり課 都市計画係（内線336）

## 全国瞬時警報システム (J-ALERT) 全国一斉試験放送実施

地震や武力攻撃などの災害時に、全国瞬時警報システム（J-ALERT）から送られてくる緊急情報を、防災行政無線を用いて確実に町民のみなさんにお伝えするため、緊急情報伝達の試験を行います。

○日時 11月29日（火） 11:00

○内容 防災行政無線から定時放送と同じぐらいの音量でチャイムの後に「これはテストです。」と流れます。

※福崎町以外の市町でも、

当日は全国的にさま

ざまな方法で試験が

実施されます。



**全国瞬時警報システム（J-ALERT）とは？**

緊急地震情報や弾道ミサイル発射情報といった、対処に時間的余裕のない事態が発生した場合に、国から通信衛星を介して情報が送信され、町が受信し、防災行政無線を自動起動することにより、瞬時に緊急情報をお知らせするものです。

**問い合わせ先** 住民生活課（内線372）

## 特別指定区域の指定及び 関係図書の縦覧について

西大貫まちづくり協議会が策定した地区土地利用計画にもとづき、町から県に対して指定の申出を行った下記の地区が、このたび特別指定区域に指定及び指定の変更がなされ、兵庫県公報により告示されましたのでお知らせします。

また、関係図書を永久縦覧に供しますので併せてお知らせします。

■指定した日 平成28年10月7日

■地区名 西大貫地区

■指定した区域 地域活力再生等区域

・旧地縁者住宅区域 ・旧新規居住者住宅区域

・旧小規模事業所区域

**関係図書の縦覧場所** まちづくり課

**縦覧時間** 8:30～17:15 ※閉庁日を除く

**問い合わせ先** まちづくり課 都市計画係（内線336）

※町のホームページにも掲載しています。

# 平成28年度 全国学力・学習状況調査の結果

本年も4月19日に全国学力・学習状況調査が、全国すべての小中学校(小学6年生・中学3年生)で、国語・算数(数学)の2教科4分野で実施されました。今回の本町の子どもたちは、下表のとおり小学校・中学校とも2教科3分野で全国平均を上回りました。本調査は、学力の一部を調査したものであり、すべての教科が同様であるとは証明できかねますが、頑張っていることは高く評価できます。また、同時に行った生活調査について分析しましたところ、ここ数年、地域の行事に参加するという項目が全国平均を大きく上回っています。このことは、子どもたちが地域の中で育っている・地域を挙げて子育て支援をしていただいていることが裏打ちされています。

各小中学校・教育委員会においては、現状を評価しつつも、今回の分析と今後の対策を考えて、更に積み上げが必要な分野や、他教科でも同じような成績が上げられるよう指導力の向上に励みます。



## ◆学力調査について

■小学校正答率【公立のみ】 (単位：%)

|       | 国語A   | 国語B  | 算数A   | 算数B   |
|-------|-------|------|-------|-------|
| 全 国   | 72.9  | 57.8 | 77.6  | 47.2  |
| 兵庫県   | 73.0  | 57.7 | 77.7  | 47.3  |
| 福崎町   | 76.2  | 54.3 | 79.9  | 47.6  |
| 指 数   | 104.5 | 93.9 | 103.0 | 100.8 |
| 文科省基準 | 水準内   | 水準内  | 水準内   | 水準内   |

■中学校正答率【公立のみ】 (単位：%)

|       | 国語A   | 国語B  | 数学A   | 数学B   |
|-------|-------|------|-------|-------|
| 全 国   | 75.6  | 66.5 | 62.2  | 44.1  |
| 兵庫県   | 76.0  | 65.8 | 65.7  | 45.5  |
| 福崎町   | 77.0  | 65.0 | 68.4  | 46.1  |
| 指 数   | 101.9 | 97.7 | 110.0 | 104.5 |
| 文科省基準 | 水準内   | 水準内  | 水準以上  | 水準内   |

※Aは基本力を見る問題。Bは応用力を見る問題。

※指数は全国平均を100としています。

※正答率の全国平均より±5.0以内は、水準内となっています。



## ◆生活調査より

### ◎よくできている項目

- ・毎日同じような時刻に起きている。
- ・家で学校の宿題をしている。
- ・友だちとの約束を守っている。
- ・地域の行事にはよく参加している。

### ◎気になる項目

- ・毎日同じような時刻に寝ていない。
- ・宿題以外の予習や復習が少ない。
- ・解き方や考え方をあまりノートしていない。
- ・発表し合う学習活動が苦手である。

## ◎総括◎

- ・「時間を守る人は、勉強ができる。」とされていることが裏打ちできる。
- ・学校のことなどを話し合っている家庭の子どもほど正答率が高い。
- ・学習支援員の配置により、きめ細かな指導につながっている。
- ・先生に指示されたことはよくできるが、自分からプラスアルファをする意欲が弱い。
- ・総じて、学習ノートのまとめ方及び授業の目標を振り返る活動・意欲に課題がある。

## ◎今後の対応◎

- ・町学力向上委員会・各学校で現状分析をしっかり行い、学力向上に向けた学習指導を高め、「生きる力」の定着につなげる。
- ・家庭と協力して基本的生活習慣をより確立させ、自ら学ぶという主体的・能動的な姿勢を育成する。
- ・授業中、友だちの意見をしっかりと聞き、それに対する自分の意見を持ち人前で発表できる訓練をする。
- ・学校での朝学習、授業の工夫改善、家庭での読書習慣(「フクちゃん読書」・新聞を読む)などの定着を図る。
- ・今後も、町単独での授業支援による少人数学習や複数指導によるきめ細やかな指導をする。

(福崎町教育委員会)

# 福崎町文化財だより 70

福崎町教育委員会  
柳田國男・松岡家記念館  
神崎郡歴史民俗資料館

## 目指せ！日本遺産

近代日本の鉱山システムを生み出した、

## 生野鉱山と馬車の道

「生野鉱山と馬車の道のストーリー」を日本遺産に！現在、3市3町（姫路市・福崎町・市川町・神河町・朝来市・養父市）が申請者となつて、兵庫県、関係団体と連携し、日本遺産認定を目指した取り組みをすすめています。

そこで、「日本遺産って何？」「馬車の道って何？」—そんな疑問にお答えし、みなさんに日本遺産について知っていただき、取り組みを盛り上げていきたいと思っています。

### 1、国内外に魅力発信！

#### 日本遺産

日本遺産は、地域の歴史的  
魅力や特色を通じて、日本の



三木家住宅前を通る「銀の馬車道」

文化・伝統を語る「ストーリー」を国（文化庁）が認定する制度です。国内外への魅力発信や地域活性化を図る目的で、平成27年度に創設されました。現在の認定数は、全国で37件ですが、文化庁は、東京オリンピック（2020年）までに100件程度まで認定を増やす方針です。兵庫県では、「丹波篠山・デカンショ節」「国生みの島・淡路」の2件が認定されています。

### 2、日本近代化のストーリー

〜生野鉱山と馬車の道〜  
明治元年（1868）、生

野鉱山（現朝来市）は日本最初の官営鉱山となりました。

明治政府は、近代化を先導する模範鉱山として、生野鉱山にフランス人技師を招き、世界の最先端技術を導入して、近代鉱山システムを築きあげました。

なかでも、輸送では生野・姫路間に、日本初の産業専用道路「生野鉱山寮馬車道」が造られました。明治9年に完成したこの道を、わたしたちは「銀の馬車道」の愛称で、地域間交流のシンボルとして保存活用しています。

### 3、福崎町と「銀の馬車道」

「銀の馬車道」は、生野鉱山から、神河町、市川町を経て、福崎町の辻川界隈を東西に横切り、西光寺野へと南下します。

辻川の三木家住宅（県指定文化財）に南接する道路が「銀の馬車道」です。辻川界隈は関連する文化財の宝庫でもあり、馬車道ルートのおかげで、重要なポイントとなっています。

#### 三木家住宅と「銀の馬車道」

三木家住宅の表門前を通る道は、北条街道と呼ばれる東西交通の主要路の1つでした。明治初年、この街道を馬車道として拡幅整備するにあたり、三木家は表門を小規模に建て替え、位置を移動させて用地を提供しました。また、三木家文書には、「馬車道潰地書上帳」など、馬車道建設に関わる資料も残っています。



「馬車道潰地書上帳」  
潰地を書き上げ、飾磨県へ提出した。

#### 柳田國男と「銀の馬車道」

柳田國男生家（県指定文化財）は、もともとは「銀の馬車道」に面して建っていました。柳田は「辻川というような非常に古い道路の十文字になった所に育ったことが、幼い私に色々の知識を与えてくれたように思う。（中略）も



柳田國男生家跡  
に建つ石碑

#### 巖橋と「銀の馬車道」

辻川山公園の河童が出没する池に架かっている石橋が巖橋です。もとは、雲津川に架かり、その上を馬車が走っていました。



雲津川に架かる巖橋（昭和62年撮影）  
「その橋は私の見ている間に石橋にかけ代えられた」（柳田國男『故郷七十年』）



福崎町制60周年記念  
井上通泰生誕150年記念展

# 井上通泰展

～歌を詠み愛した眼科医～



『万葉集新考』個人蔵



開催中



2. 天秤



1. 薬箱



3. 「南天荘」扁額

\* 1～4は姫路文学館蔵

柳田國男の兄である井上通泰は、慶応2年（1866）に誕生し、今年、生誕150年を迎えます。

記念館では、眼科医・歌人・国文学者として活躍した通泰の業績をはじめ、松岡五兄弟や森鷗外、門人たちの交流を紹介する展示をしています。

通泰が診療で使用していた天秤や薬箱、文化人との書簡や著書など、通泰が生涯をかけて取り組んだ研究をぜひご覧ください。



4. 井上眼科医院廣告  
『トラホーム物語』より



『播磨国風土記新考』

医者をめざして

通泰は、15歳の時に上京し、大学予備門を経て、帝国大学医科大学に入学しました。卒業後は、眼科医局助手として在籍しながら開業し、姫路の病院へ赴任したのち、30歳で第三高等学校医学部の眼科教授となりました。そして、37歳の時、岡山から再び上京した通泰は、井上医院を開業し、診療を続けました。

歌人として

通泰は、76年の生涯のうち、最も長い時間を歌学の研究に費やしました。歌人である松波遊山に師事し、森鷗外や山県有朋らとともに歌会をひらきました。歌人としての才能が認められ、御歌所寄人に任命されるなど、宮中でも活躍しました。

42歳の時、好きな南天にちなみ、号を「南天荘」と決めました。そして、「南天荘同人会」を発足し、通泰は、門人たちへの歌の指導や『万葉集』などの講義を行いました。

▶短冊 個人蔵



在野の研究者として

還暦を迎えた通泰は、医業を廃しました。その後は、文学や史学の研究に専念し、『万葉集新考』完成後は、『播磨国風土記新考』をはじめとする、「風土記」研究に取り組みました。

日本民俗学会研究奨励賞



受賞者の戸邊さん(右)と高寄教育長

受賞論文は、柳田國男記念館と情報公開コーナー（役場・図書館・八千種研修センター）で閲覧できます。

福崎町では、柳田國男の功績を生かし、日本民俗学のさらなる発展を願って、日本民俗学会の研究奨励賞に副賞を贈っています。この賞は、35歳未満の次世代の民俗学を担う若手研究者に授与されるものです。

今年は、戸邊優美さんの論文「女性集団の公的側面―女講中の婚礼関与を中心として―」が受賞されました。10月1日（土）、千葉商科大学で開催された年会において表彰式が執り行われました。



通泰の蔵書や資料を保管した南天荘文庫（福崎町南天原）

# 松岡五兄弟 井上通泰

第23話



福岡の身近にある歴史を掘り起こそう

## 井上通泰と南天

神戸大学大学院人文学研究科 地域連携センター研究員

井上 舞

赤い実をたわわに垂らし、冬枯れの庭に彩りを添えてくれる植物、南天。「ナンテン」という音が、「難転」つまり「難を転ずる」に通じるため、古くから縁起物として親しまれてきました。

井上通泰は、南天をことさらに愛し、へ南天荘という号を名乗っていました。「号」というのは、文人や書家、画家などが創作活動を行う際に用いる別名のことです。(弟の松岡輝夫も、画家として「松岡映丘」を名乗っていましたね。)

今回は、通泰と南天について、お話したいと思います。通泰は、若いころから南天が好きだったようです。それを示す、次のようなエピソードが残っています。

ドが残っています。通泰が岡山に赴任していた時のこと。時折、故郷の井上家に帰省すると、その噂を聞いた人たちが、偉い先生に一度診察してもらおうと、大勢押しかけてきました。その頃、ちょうど南天を集めたいと思っていた通泰は、一計を案じます。下男を通じて、診察を受けなければ、南天を一本持参すればよい、という話を広めさせたのです。すると、あつという間に、林ができるほどの南天が集まったそうです。(『南天荘同人会会報』)

そんな通泰がへ南天荘を名乗るようになったのは、明治40年(1907)のこと。それ以前は、短い期間ながらへ城南荘という号を使っていた。

もともと、通泰は号を用いることを好まず、歌を詠むときも本名を名乗っていたそうです。しかし、歌人として活躍する中で、本名を使うと堅

苦しくなる場合や、不便な場合があるため、必要なときに限ってへ城南荘を使っていたそうです。

明治35年に岡山医専(岡山大学医学部の前身)を辞した通泰は、上京し、東京市麹町区内幸町(現在の東京都千代田区)で眼科医院を開業しました。ここは、もともと近衛公爵の居宅で、かつては「城南荘」と呼ばれていました。そこで通泰は、自分の住んでいる場所にちなんで、へ城南荘と名乗っていたのです。

その後、家の号として「南天荘」を用いることにした通泰は、その旨を伝える手紙を知人や門人に宛てています。その文面には「此度愛スル所ノ植物ノ名ニヨリテ南天荘ト号スル」とあって、通泰の南天への思い入れの深さをうかがい知ることができます。

(『南天荘歌話』)  
これ以降、通泰の居宅は「南天荘」と呼ばれるように

なり、通泰もまた、昭和16年(1941)に亡くなるまでこれを自身の号として使い続けました。

また、通泰の遺品の中には、松岡映丘がデザインしたという、南天をあしらった徳利と盃が残っています。酒を好んだ通泰にとって、この徳利で飲む酒は、また格別なものだったのではないのでしょうか。あるいは、このほかに、本の装丁や身の回りの小物にも南天の図柄を使っていたのかもしれない。

最後に、通泰の歌を一首紹介しましょう。大正13年(1924)に、「南天」という題で詠まれた長歌です。

しづかなる処もとめて  
書よまむ小庵をつくり  
わが好む南天の木を  
ひろ庭に五百ちばかりも  
うゑてむとねがひそめしは  
ゆく末のまだとばかりし  
男ざかりにして

閑静な場所に、書物を読むための小さな庵を作り、そこに南天の木を五百本ほど植える、という望みを抱いた

のは、まだ若い、男盛りのころだった、という意の歌です。大好きな南天に囲まれて、静かに本を読む生活こそが、通泰が理想とする環境だったのでしょうか。そして、実際に通泰が暮らした家には、多くの南天が茂っていたのではないのでしょうか。

柳田國男・松岡家記念館で開催中の「井上通泰展」は、11月27日までです。歌を詠み、歌を愛し、南天を愛した眼科医を訪ねて、記念館にいらっ

徳利と盃  
(姫路文学館蔵)



『南天荘同志写真帖』  
(個人蔵)



**場所** 西田原1106  
**日時** 11月23日(水・祝)  
 10時～16時30分

三木家住宅は、姫路藩の大庄屋として地域の政治と文化の中心的存在であり、柳田國男や「銀の馬車道」との縁も深い建物です。今回は、自然歩道を歩こう大会の開催にあわせて臨時公開します(建物内部は見学できません)。



(社会教育課)

※申込は不要です。

## 県指定文化財 三木家住宅を臨時公開!

福崎町制60周年記念  
 井上通泰生誕150年記念

## 福崎町文化財フォーラム

### 福崎町と『播磨国風土記』

～古代の地名が語るふるさと福崎の魅力～

1300年前の記憶を伝える歴史文化遺産『播磨国風土記』をみなさんに知っていただくため、文化財フォーラムを開催します。

**日時** 11月26日(土) 13:30～

**場所** エルデホール イベントホール

**内容** 第4回柳田國男ふるさと賞受賞者発表  
 シンポジウム

【ホワイエでの展示】

『播磨国風土記』パネル展

柳田國男ふるさと賞受賞作品展

**主催** 福崎町文化遺産活性化実行委員会

(社会教育課)

参加無料  
 申込不要



町指定文化財  
 石造地藏菩薩像(田口・金剛城寺)

文化財は、地域の歴史を伝えてくれる大切なものです。かけがえのない郷土の歴史遺産を、これからも長く未来へ守り伝えていきましょう。

## 11月は文化財保護強調月間です

## 11月27日(日)まで開催中!!

### 企画展「ちょっとなつかしい 昭和30年代くらしの風景」

**会場** 歴史民俗資料館

**開館時間** 9:00～16:30

**入館料** 無料

**休館日** 月曜日、祝日の翌日

町制60周年を記念し、なつかしい昭和30年代の居間を再現。当時の写真も展示しています。

**開館時間** 午前9時～午後4時30分  
**休館日** 月曜日、祝日の翌日、12月28日～1月4日  
**入館料** 無料  
**交通** JR播但線で福崎駅下車、徒歩約30分、またはバス・タクシーを利用。  
 車は播但連絡道路・中国自動車道で福崎ICから約5分、または国道312号線を利用。

柳田國男・松岡家記念館  
 歴史民俗資料館  
 利用案内



福崎町文化財だより ⑩  
 発行 平成28年11月4日  
 ・福崎町教育委員会  
 福崎町南田原316の1  
 ☎0790-20560  
 ・柳田國男・松岡家記念館  
 ・神崎郡歴史民俗資料館  
 福崎町西田原103の12  
 ☎0790-21000  
 (記念館)  
 ☎0790-25699  
 (歴史)

## 《付近見取図》

